

宵々古今

作詞：Reol

作曲：Giga / Reol

らっしやいな 平は成り
時が来た 正しい夢現(ゆめうつつ) 夜もすが
ら
変わりゆくことに恐れなし
のっぴきならないのは御免

手毬唄歌い 君達が誘う
悪人(やなんちゅ)に後ろ髪を惹かれても
進むべきなり
流行り廃りの憂き世なら
信ずる者はただ、君だけと

踊れ騒げや 呑めや歌えや
案ずることなどないな
此の世人の世は恨めしい
雪駄はちゃらちゃら 愛(かな)し
縋って眩んで満身創痍で
それぞれそれぞれ

今を嘆いて昔を粧しても
君の心の内 流る涙川
それじゃ敵わん 何処にいても
めくるめく舞台に君を連れて

あまりてなどか人ぞ悲しき
身勝手なのが世の理か
万人持つ理想 虚像の偶像(アイドル)
俗な答えなどはあらざらむ

僕ら巡りあうこと まさに一期一会
酸いも甘いも試練 連れ添ってこの手握って
生きづらい此処、浮き世から
旗を掲げよ 宵闇が明る

酔いどれアガれや 寝れば忘るる
昔も今も変わらず
浮世人の世嘆かわしい
いつだってちゃんちゃら をかし
荒んで笑って合縁奇縁で
それぞれそれぞれ

深まる春も凍てつく雪の日も
日出ずるすべての瞬きを君と見よう
彩る色 何処までも

空前なる見晴らしを眺めて

負けて花一匁 欲しがる欲しがる欲しがる声
勝って恨んで買って選んで 呆気ないって泣いて
猿真似の何番煎じじゃ満ち足りないない

未だ進む道半ば哉
如何なる時も歩を前へ出せ

流行り廃りの憂き世なら
信ずる者はただ、君だけと

踊れ騒げや 呑めや歌えや
案ずることなどないな
此の世人の世は恨めしい
雪駄はちゃらちゃら 愛(かな)し
縋って眩んで満身創痍で
それぞれそれぞれ

今を嘆いて昔を粧しても
君の心の内 流る涙川
それじゃ敵わん 何処にいても
めくるめく舞台は宵々、君を連れて

あまりてなどか人ぞ恋しき
身勝手なのが世の理か
移ろうは古今 航路なら堂々
恐るることなどはあらざらむ